

平成29年度
第1回高松市香川地区地域審議会
会議録

と き：平成29年8月8日（火）

と ころ：高松市香川図書館 4階集会室

平成29年度
第1回高松市香川地区地域審議会
会議録

1 日時

平成29年8月8日(火) 午後2時開会・午後3時31分閉会

2 場所

高松市香川図書館 4階集会室

3 出席委員 12人

会長	佐藤博美	委員	植松一夫
副会長	木田和夫	委員	黒川あゆみ
委員	生嶋暹	委員	中澤悦子
委員	池田佐智子	委員	西川靖子
委員	一小路宏美	委員	能祖浩子
委員	上原勉	委員	御厩武史

4 欠席委員 3人

委員	鎌田義美	委員	白川美清
委員	矢野トミ子		

5 行政関係者

市民政策局参事	多田雄治	文化財課長	次田吉治
政策課長補佐	松本徳	文化・観光・スポーツ部長	
コミュニティ推進課長		スポーツ振興課長事務取扱	
	藤田晃三		高尾和彦
地域振興課長	植田敬二	スポーツ振興課長補佐	
地域振興課長補佐	鈴木克則		横山智
地域振興課係長	宮武宏行	道路整備課長補佐	増尾真吾
地域振興課主事	古林恵里奈	道路整備課係長	石井俊二

ファシリティマネジメント推進室長

森田安男

子育て支援課主幹 西宮直樹

こども園総務課長 合田磨

こども園総務課長補佐

三宅菜緒子

こども園総務課係長 三木勝彦

健康福祉局次長

保健センター長事務取扱

久保典子

保健センター主幹 山上浩平

保健センター副センター長

平田和也

保健センター副センター長

坂上育子

公園緑地課長 河合良治

公園緑地課長補佐 蓮井隆

公園緑地課長補佐 植田一徳

教育局次長 教育局総務課長事務取扱

石原徳二

教育局総務課長補佐 上原茂

総合教育センター所長

篠原隆則

消防局総務課次長 辻本哲彦

消防局総務課主幹 長尾剛司

新病院整備課長補佐 正本幸生

新病院整備課長補佐 松本修治

市民病院附属香川診療所事務局長

川西克彦

下水道整備課長補佐 北山幸治

下水道整備課係長 飯間敏充

6 事務局（香川総合センター）

センター長 澤田敏男

副センター長兼係長 池下和博

管理係主任主事 西原一晴

7 傍聴者 6人

会 議 次 第

1 開 会

2 会議録署名委員の指名

3 議 題

(1) 報告事項

ア 建設計画に係る平成28年度事業の実施状況について

(2) 協議事項

ア 建設計画に係る平成30年度から平成32年度までの実施事業に関する意見に
対する対応方針について

4 その他

5 閉 会

午後 2時00分 開会

会議次第1 開会

○議長（佐藤会長） それでは、予定の時刻が参りましたので、只今から「平成29年度第1回 高松市香川地区地域審議会」を開会いたします。

委員の皆様方、また、市関係職員の皆様には、暑い日が続き、何かと御多忙のところ御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。座って進行させていただきます。

本日の審議会におきましては、「建設計画に係る平成28年度事業の実施状況」に関する報告事項と、「建設計画に係る平成30年度から平成32年度までの実施事業に関する意見に対する対応方針」につきまして協議をお願いすることにしておりますので、どうか前向きな御協議をよろしくお願い申し上げます。

それでは、会議に移りたいと存じます。

本日の会議でございますが、鎌田委員さん、白川委員さん、矢野委員さんは所用により欠席されておまして、15名の委員中、12名が出席されておりますので、「本審議会の設置並びにその組織及び運営に関する協議第7条第4項」の規定によりまして、会議を開催したいと存じます。

また、この地域審議会の議長でございますが、「同協議第7条第3項」の規定により、会長が議長となることとなっておりますので、私の方で務めさせていただきます。

会議次第2 会議録署名委員の指名

○議長（佐藤会長） それでは、まず、会議録への署名委員さんを指名させていただきますが、本審議会の名簿順をお願いすることとしておりますので、今回は、中澤悦子委員さんと西川靖子委員さんのお二人をお願いいたします。よろしくお願い申し上げます。

会議次第3 議事（1）報告事項ア

○議長（佐藤会長） それでは、議事に入りたいと思います。

本日の会議次第3 議事の（1）報告事項アの「建設計画に係る平成28年度事業の実施状況」につきまして、地域振興課より御説明をお願いいたします。

○植田地域振興課長 議長。

○議長（佐藤会長） はい、どうぞ。

○植田地域振興課長 地域振興課の植田でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私を含めまして、本日職員の説明につきましては、こちらの方で、座って御説明をさせていただきます。御了承を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、報告事項アの「建設計画に係る平成28年度事業の実施状況」につきまして、お配りしておりますA3横長資料を元に、御説明をさせていただきます。

お配りしております資料の中で、右肩に資料1と記載のある「建設計画に係る平成28年度事業の実施状況調書（香川地区のみの事業）」を御覧ください。

この資料でございますが、一番左側の欄に「まちづくりの基本目標」といたしまして、「連帯のまちづくり」から2枚目の「参加のまちづくり」まで、5つの基本目標ごとに、「施策の方向」、「施策項目」、「事業名」、「28年度事業の実施状況」を記載し、「28年度の予算現額」と「決算額」を対比させるとともに、29年度へ繰り越した事業については、その「繰越額」と「事業の概要」を記載しております。

時間の関係もございますので、逐一の説明は省略させていただきますが、主な事業の「28年度決算額」を申しあげます。まちづくりの基本目標の「連帯のまちづくり」では、「新病院整備事業」といたしまして、建設工事費、工事監理業務委託費、駐車場整備工事費等で、9億3,261万8千円、「保育所の耐震化」といたしまして、大野地区統合保育所整備工事等・川東保育所改築工事等で、12億9,547万1千円、「特別保育」といたしまして、延長保育・特別支援保育・地域子育て推進事業・世代間交流事業・障がい児ふれあい事業・保育体験事業で、3,563万8千円でございます。

次に、「循環のまちづくり」では、「水道管網の整備」といたしまして、配水管の布設、老朽ビニル管の更新で、3,202万8千円、「下水道汚水施設の整備（西部処理区）」といたしまして、汚水管工事で、2億2,987万4千円、「合併処理浄化槽設置整備事業」といたしまして、浄化槽60基の設置助成で、1,223万9千円でございます。

次に、「連携のまちづくり」では、「幼稚園の整備」といたしまして、川東幼稚園大規模修繕等で、7,017万7千円、「小・中学校施設の整備」といたしまして、大野小学校校舎外壁等改修工事、浅野小学校校舎外壁等改修工事、香川第一中学校校舎外壁改修工事で、1,985万1千円、「学校施設の耐震化」といたしまして、川東小学校非構造部材改修工事で、2,387万円、「伝統文化の保存・継承の支援」といたしまして、無形民俗文化財

である「ひょうげまつり」や農村歌舞伎「祇園座」の保存・継承・公開事業への助成で、300万円でございます。

次のページを御覧ください。

「交流のまちづくり」では、「市道の整備」といたしまして、梅ヶ井線の改良工事、臼井山下線の測量設計、下川原北線の橋梁上部工一式・道路改良工事で、2億2,551万円、「香川町コミュニティバス・シャトルバス運行事業」といたしまして、香川町コミュニティバス等への運行費補助金の交付で、1,525万9千円でございます。

次に、「参加のまちづくり」では、「地域審議会の開催」といたしまして、34万7千円でございます。

以上、「連帯のまちづくり」から、「参加のまちづくり」までの決算額を合わせまして、総額で、29億521万4千円を平成28年度において執行いたしましたものでございます。

また、右側の「29年度への繰越額」の欄に記入のある事業につきましては、28年度内の事業の完了に向けて、鋭意、取り組んでまいりましたが、結果として、どうしても予算を29年度に繰り越して、事業の実施を図る事情が生じたものでございまして、その総額は、4億1,490万3千円となっております。

続きまして、下段の「建設計画に係る事業の平成28年度事業の実施状況調書（香川・香南地区事業）」を御覧ください。

こちら「地区のみの事業」と同様に、主な事業の「28年度の決算額」を申し上げます。連携のまちづくりの「南部地域の核となる特色あるスポーツ施設の整備」といたしまして、設計業務・地質調査・建設工事などで、8,376万1千円でございます。また、この事業の「29年度への繰越額」につきましては、2億1,522万1千円となっております。

以上で、平成28年度事業の実施状況の説明を終わらせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

○議長（佐藤会長） どうもありがとうございました。

只今、御説明をいただきました「建設計画に係る平成28年度事業の実施状況」につきまして、御質問等をお受けいたします。なお、時間の関係もございますので、御質問、御答弁につきましては、できるだけ簡潔にお願いいたします。

それでは、どなたからでも御発言をお願いいたします。

○議長（佐藤会長） 御厩委員さん。

○御厩委員 すみません。御厩です。

特に予算と決算額が大きく違うところで、「連携のまちづくり」の中の「大野小学校・浅野小学校・香川一中」のところの予算が7,000万円に対して、決算が1,900万円と、2ページ目の「連携のまちづくり」のところのスポーツ施設で、予算が2億9,000万円に対して、決算が8,300万円、これはどういう理由でなったのか教えていただきたい。

○石原教育局次長 教育委員会総務課の石原です。

○議長（佐藤会長） はい、どうぞ。

○石原教育局次長 お答えといたしましては、そもそも29年度の予算額に入っているのが、3月補正なんです。基本的に繰り越すという形でやっておりますので、実質的には、その予算額という形です。以上でございます。

○議長（佐藤会長） はい、御厩委員さんよろしいですか。

○御厩委員 ええ、2点目の施設に関する質問についてお願いします。

○高尾文化・観光・スポーツ部長 議長。

○議長（佐藤会長） はい、どうぞ。

○高尾文化・観光・スポーツ部長 工事の進捗が遅れ繰り越した関係で、こういう数字になっている状況でございます。

○議長（佐藤会長） はい、御厩委員さんよろしいですか。

○御厩委員 関連して再度質問なんですが、大体、何年何月にオープンできそうですか。スポーツ施設に関して、今のところの予測で結構ですから。

○高尾文化・観光・スポーツ部長 議長。

○議長（佐藤会長） はい、どうぞ。

○高尾文化・観光・スポーツ部長 この後でもまたありますけれども、一応、皆様に説明してありますとおり、29年度中の完成を目指して努力をしております。いつという部分に関しては、「それを目指してやっております。」というくらいでしか今のところお答えできません。

○御厩委員 わかりました。

○議長（佐藤会長） はい、よろしいですか。

はい、他にございませんか。

会議次第3 議事(2) 協議事項ア

○議長（佐藤会長） 特に御意見が無いようでございますので、続きまして、(2)の協議事項アの「建設計画に係る平成30年度から平成32年度までの実施事業に関する意見に対する対応方針」につきまして、地域振興課より御説明をお願いいたします。

○植田地域振興課長 議長

○議長（佐藤会長） はい、どうぞ。

○植田地域振興課長 地域振興課の植田でございます。

それでは、協議事項アの「建設計画に係る平成30年度から平成32年度までの実施事業に関する意見に対する対応方針」につきまして、御説明をさせていただきます。

お手元の、右肩の資料2と書いてあるA3横長の資料を御覧ください。

この対応調書につきましては、本年5月24日に開催されました勉強会で取りまとめをし、5月31日に御提出いただきました「建設計画に係る平成30年度から平成32年度までの実施事業に関する意見に対する対応方針」を整理したものでございます。

それでは、項目順に従いまして、それぞれ所管をしております担当部局から、順次、御説明をさせていただきますので、よろしくをお願いいたします。

○高尾文化・観光・スポーツ部長 議長。

○議長（佐藤会長） はい、どうぞ。

○高尾文化・観光・スポーツ部長 スポーツ振興課の高尾と申します。座って説明させていただきます。

項目番号1の「特色あるスポーツ施設の整備促進について」でございますが、現在、進入路工事が完成いたしまして、造成工事に着手しており、先ほども説明いたしましたが、平成29年度中の完成を目指し、順次整備を進めております。それ以降、夜間照明等につきましては、竣工後の利用状況等を勘案し、整備を検討して参りたいと存じます。また、5月に御報告させていただきましたとおり、施設名を「高松市立りんくうスポーツ公園」としたところでございます。よろしくをお願いいたします。

○議長（佐藤会長） はい、ありがとうございました。

○合田子ども園総務課長 議長。

○議長（佐藤会長） はい、どうぞ。

○合田子ども園総務課長 子ども園総務課の合田でございます。座って説明させていただきます。

大野地区統合保育所と川東保育所につきまして、平成27年7月から工事に着手いたし

まして、大野保育所は平成28年7月から、川東こども園につきましては平成29年4月から、新施設において保育を開始したところでございます。

大野保育所の跡地利用につきましては、大野校区コミュニティ協議会様から要望のありました公園整備について、所管課の公園緑地課と連携し検討してまいりたいと存じます。川東保育所の跡地につきましては、庁内の関係部局とも協議しながら有効活用をしてまいりたいと存じております。よろしくお願いいたします。

○議長（佐藤会長） はい、どうも、ありがとうございました。

○次田文化財課長 議長。

○議長（佐藤会長） はい、どうぞ。

○次田文化財課長 文化財課の次田と申します。よろしくお願いいたします。座って説明させていただきます。

本市の民俗文化財でございます「ひょうげ祭り」及び「農村歌舞伎 祇園座」につきましては、高松市文化財保護条例及び高松市補助金等交付規則により、保存公開活用事業や後継者育成事業に対して、引き続き積極的な支援を行ってまいりたいと存じます。

また、広報関係でございますが、市ホームページや広報たかまつ等への掲載、報道機関への情報提供などを随時行い、本市の民俗文化財として、積極的な情報発信を引き続き行ってまいりたいと存じます。

「ひょうげ祭り」は、他県からの観光客も増加し、テレビ等で報道されるなど反響が高く、また、「農村歌舞伎 祇園座」につきましては、日本ユネスコ連盟の未来遺産に登録されるなど、民俗文化財の活用及び後継者育成にも活発でございます。本市といたしましては、引き続き支援を行ってまいりたいと存じます。

次に「大禹謨碑関連事業」については、文献資料等の収集などに努め継続実施したいと存じます。以上でございます。

○議長（佐藤会長） はい、ありがとうございました。

○川西市民病院附属香川診療所事務局長 香川診療所です。よろしくお願いいたします。

○議長（佐藤会長） はい、どうぞ。

○川西市民病院附属香川診療所事務局長 項目番号4番「高松市民病院附属香川診療所機能の確実な維持と新病院の早期整備について」でございます。

香川診療所では、常勤医師で診療しております、小児科、眼科に加え、「総合診療科」を設け、市民病院や塩江分院からの医師派遣を受けるほか、高松市の寄附により香川大学医

学部を設置した寄附講座(地域包括医療学講座)の内科医師による診療も行っております。

また、入院が必要な患者に対しては、新病院開院まで、市民病院などの入院機能を持つ病院と十分連携し、適時適切に紹介するなどの対応に努めてまいりたいと存じます。

今後とも、「住民参加型医療の提供」を基本方針に、地域包括ケアの取組みとして「糖尿病」「白内障」等をテーマにした健康教室、小児医療の健康教室、「高松市立みんなの病院」の開院を見据えた健康教室及び骨密度測定などによる骨粗しょう症予防教室を地域の集会所等で実施するほか、患者との診療情報の共有を図る「わたしのかるて」を発行するとともに、経営会議に地域住民、香川地区担当の保健師及び香川総合センター職員の参加をいただくなど、地域に根ざした診療所として、できる限り現在の診療体制を確保し、「高松市立みんなの病院」の開院まで、香川診療所を確実に維持してまいりたいと存じます。

また、新病院整備事業については、平成27年12月から新築工事が開始しており、28年度は、建築工事に係る基礎工事を終え、免震装置を設置するとともに躯体工事に着手したほか、新病院における医療器械の導入計画を策定し、一部の大型医療器械(MRI及びリニアック)の選定を行いました。引き続き平成30年度の前半の開院に向けて新病院整備事業を進めてまいります。以上でございます。

○議長(佐藤会長) はい、どうもありがとうございました。

○久保健康福祉局次長 保健センターの久保でございます。よろしくお願いいたします。

○議長(佐藤会長) よろしく、どうぞ。

○久保健康福祉局次長 5番「香川地域保健活動センターの有効活用と幼児健診受診施設の整備」についてでございます。

香川地域保健活動センター(旧香川保健センター)の新たな利活用の検討に当たりましては、地域審議会等を始め、地域住民の御意見をお聞きしながら、今後、策定される予定の「公共施設再編整備計画(案)1次」との整合性を図りながら進めることとしております。

去る5月24日に開催いたしました香川地区地域審議会平成29年度第1回勉強会におきまして、食生活改善推進協議会など、引き続いて、保健・福祉のための施設としての利活用を求めるとの御意見を伺っているところでございます。

今後の利活用につきましては、ファシリティマネジメント推進室と連携しながら、施設の有効活用方策について速やかに検討いたしまして、本審議会に、適時適切に御報告してまいりたいと存じます。

仏生山の総合センター、いわゆる中部総合センター（仮称）におきましては、保健・福祉サービスの更なる向上を図るために、その施設内に健診室や相談室の健診機能を有する保健センターを整備することといたしまして、現在、基本設計業務を委託しているところでございます。よろしくお願いいたします。

○議長（佐藤会長） はい、どうもありがとうございました。

○増尾道路整備課長補佐 議長

○議長（佐藤会長） はい、どうぞ。

○増尾道路整備課長補佐 道路整備課増尾と申します。よろしくお願いいたします。

「市道の整備について」でございます。市道向坂宮下線につきましては、現在、関係者が中心となり、引き続き、土地所有者等関係者と調整を行っていると同っております。本市といたしましては、地元関係者の合意形成が図れ、生活道路としての正式な手続きを経た後、法線決定等整備計画について協議を進めてまいりたいと存じます。

市道下川原北線・山下横岡線等の早期整備のうち、下川原北線でございますが、現在、県道川東高松線までの300m区間について、全線の用地買収が完了し、香南町につながる橋梁建設工事も舗装と高欄を除き、ほぼ完成しております。今後は、道路改良工事等につきまして、予算確保に努めながら早期の完成を目指してまいりたいと存じます

山下横岡線の拡幅整備につきましては、この市道下川原北線の整備後に交通量の増加状況や交通の流れ等を検証した上で、拡幅の必要性を検討してまいりたいと存じます。

また、市道八王子線につきましては、現在、地元土地改良区において、地権者との協議を行っていると同っており、本市といたしましては、地権者の合意形成が図れ、生活道路としての正式な手続きを経た後、協議を進めてまいりたいと存じます。

その他の路線につきましては、昨年度に見直しを行った生活道路整備事業の審議会の採択を経た後、優先度も考慮の上、地元関係者の同意が得られた路線より、順次整備に努めてまいりたいと存じます。以上です。

○議長（佐藤会長） はい、どうもありがとうございました。

只今、御説明をいただきました「建設計画に係る平成30年度から平成32年度までの実施事業に関する意見に対する対応方針」につきまして、御質問等をお受けいたします。なお、御質問は項目番号順にお受けいたしますので、よろしくお願いいたします。

それでは、まず項目番号1番の「特色あるスポーツ施設の整備促進」につきまして、御質問等がございましたら、どなたからでも御発言をお願いいたします。

○御厩委員 議長。

○議長（佐藤会長） はい、御厩委員さん。

○御厩委員 夜間照明について、利用者の状況を見てからということですが、大体、目途がつくとしたら、何年頃を予定されていますか。

○議長（佐藤会長） はい、どうぞ。

○高尾文化・観光・スポーツ部長 スポーツ振興課の高尾でございます。

先ほど、御厩委員さんから御質問がありました夜間照明につきましては、先ほども御説明させていただきましたように、利用状況を勘案しながらということでございますので、今の予定では29年度中に完成し、その後オープンして利用していただいて、約1年間は状況を見させていただいて、その状況を見ながら整備ができるかどうかという検討に入るのかなあと私の方は思っております

○御厩委員 はい。

○議長（佐藤会長） よろしいですかね。他にございせんか。はい。他にないようございます。どうも、ありがとうございます。

続きまして、次の項目にいきますけれども、どなたからでもよろしく願います。

○生嶋委員 はい。

○議長（佐藤会長） はい、生嶋委員さん。

○生嶋委員 生嶋です。

大野保育所跡地の利用について、質問させていただきます。

今年度から開園までの大きなスケジュールがどうなっているか。それと地元コミュニティ協議会を通しての要望を、ぜひ使用決定にあたっては汲み取っていただきたいという気持ちでいっぱいです。現地で主要メンバーと、仕様決定の打合せを持たせていただきたい。そういうお願いです。2点願います。

○議長（佐藤会長） はい、よろしいですか。どうぞ。

○合田子ども園総務課長 すみません。今、生嶋委員さんがおっしゃられたのは、公園のスケジュールでしょうか。開園までのスケジュールでしょうか。

○生嶋委員 開園までの公園化についてのスケジュールです。大野保育所跡地です。公園化に向けて、現在、更地となって公園の具体的な設計段階に入って、来年度以降、現地で工事が行われると思うんですけど、その大きなスケジュールと関係メンバーとの打合せです。

○合田こども園総務課長 公園緑地課の方が、所管しておりますので、公園緑地課の方に代わらせていただきます。

○議長（佐藤会長） はい、どうぞ。

○河合公園緑地課長 議長。

○議長（佐藤会長） はい、どうぞ。

○河合公園緑地課長 公園緑地課の河合です。よろしくお願いいたします。

大野保育所旧跡地の今後の公園のスケジュールということで、説明させていただきます。

平成29年度、今年度の計画内容につきましては、当該公園工事を進めるに当たりまして、必要な実施設計を行うこととしております。現在、この設計委託の事務を進めているところで、8月中、おそらく8月18日の予定なのですが、業者が決定する予定でございます。

公園仕様の検討等、地元との調整の関係につきましては、先ほども申し上げましたとおり、本年度の実設計業務の中で検討してまいります。また、地元との協議につきましては、この実施設計を進めてまいります際に、地域コミュニティ等、関係者の皆様の御意見、御要望等を踏まえまして、市役所と地元の協議のもとで、この内容について進めてまいりたいと思っております。なお、第1回目の協議につきましては、10月中頃を予定しております。オープンから開園に向けてですが、本格的に工事に入りますのは、来年度、平成30年度に、当該公園工事に着手する予定でございます。30年度中の完成を目指してまいります。以上でございます。

○議長（佐藤会長） はい、よろしいですか。

○生嶋委員 はい、ありがとうございました。

○議長（佐藤会長） それでは、項目番号3番の「伝統文化の保存継承」につきまして、御質問等がございましたら、どなたからでも御発言をお願いします。

○議長（佐藤会長） はい、植松委員さんどうぞ。

○植松委員 すみません。植松です。

私、「ひょうげ祭り保存会」の会長をしておりますけれども、一つだけ確認したいことがございます。実は、28年度まで歌舞伎の方と併せて、300万円という予算をつけていただいているところですが、今年度に限って5%カット、聞いたところでは、「補助金関係のすべてが、5%カットになった。」ということなんです。来年度以降はどうなるのか分かっているのであれば、お話いただきたい。

○議長（佐藤会長） はい、よろしいですか。どうぞ。

○次田文化財課長 文化財課の次田と申します。

植松委員には、お祭りの関係でお世話になりありがとうございます。この補助金につきましては、昨年度の予算編成の時に95%のシーリングという枠がありまして、その中で決まったものでございます。これは、文化財課に限らずということで、今委員さんのおっしゃったとおりでございます。30年度につきましては、今後30年度の予算編成方針が出た段階で明らかになろうかと思えます。まだ、担当課としましては、答えられるところは現状の状況でございます。よろしく申し上げます。

○議長（佐藤会長） よろしいですか。はい、どうぞ。

○植松委員 それは、秋から以降になるのですか。

○次田文化財課長 はい、そうです。

○植松委員 今年のひょうげ祭りも、もうそろそろスタートということで、準備段階が進んでおります。また、いろいろと当日のお世話等を係にお願いしておりますので、よろしく願いいたします。以上です。

○次田文化財課長 どうも、いつもありがとうございます。

○議長（佐藤会長） はい、ありがとうございました。

この項目については、よろしいですか。

○議長（佐藤会長） はい、生嶋委員さん。

○生嶋委員 生嶋です。

できればお願いなのですが、最後の大禹謨碑関連のことで、ここの文章では、「文献資料等の収集などを継続的に実施する。」ということを書かれているのですけれども、私ども大野校区コミュニティ協議会としても、まちづくり事業の一環として、毎年、大禹謨碑に関連する講演会を佃学長さんを始め毎年実施しています。お願いは、もし新しい文献とか資料とか収集したものがありましたら、開示をお願いできるかどうかということです。

○議長（佐藤会長） はい、どうぞ。

○次田文化財課長 昨年度の状況から言いますと、大禹等の文献は、新たなものは見つかっておりません。ただ、今までの経緯でございますと、平成15年に「高松城と栗林公園」という高松市歴史資料館の企画展の中で、大禹謨や西嶋八兵衛を紹介させていただきました。今後そういった新たな資料が見つかりましたら、地域の皆様にも公開するとともに、歴史資料館等での公開活用も考えたいと思えます。よろしく願いいたします。

○議長（佐藤会長） はい、どうもありがとうございました。よろしいですか。

○生嶋委員 はい。

○議長（佐藤会長） はい、御厩委員さん。

○御厩委員 植松委員さんと被るんですが、できたら、私も浅野の人間として、ひょうげ祭り保存会の補助金を元に戻してほしいのですが、ダメかも分かりませんが、その返事できるだけ早く、「5%カットで今年もやらせてください。」というふうに、それを早くしないとひょうげ祭り保存会は予算組に支障をきたしますから、決まった時点で返事をいち早くお願いします。

○次田文化財課長 はい、分かりました。

また、財政の編成方針が出ましたら、各団体の皆様には御連絡を申しあげたいと思っております。

○御厩委員 お願いします。

○議長（佐藤会長） はい、よろしいですかね。この項目については、ございませんか。

それでは、続いて、項目4番に参りたいと思いますが、どなたからでも。

○議長（佐藤会長） はい、一小路委員さん、どうぞ。

○一小路委員 一小路です。よろしく願いいたします。

ここの対応方針の中で、「香川大学医学部に設置した寄附講座の内科医師による診察を行っています。」ということなんですが、新しく診療所ができた時には、香川大学医学部の寄附講座はどうなるのですか。

○議長（佐藤会長） はい、どうぞ。

○川西市民病院附属香川診療所事務局長 すみません。香川診療所の川西です。

寄附講座につきましては、現在、塩江分院と香川診療所で実施しておりますので、新しい病院につきましては、急性期の病院なので、塩江分院で寄附講座を継続して開催する予定でございます。

○議長（佐藤会長） はい、一小路委員さん

○一小路委員 塩江病院で継続できるということですね。

○川西市民病院附属香川診療所事務局長 はい。

○一小路委員 それともう一つ、今、診療所に、医大から来ている先生は、新しく市民病院になったら、お出でくださらないのですか。

○川西市民病院附属香川診療所事務局長 議長。

○議長（佐藤会長） はい、どうぞ。

○川西市民病院附属香川診療所事務局長 香川診療所です。

現在香川診療所では、香川大学医学部から内科の先生、外科の先生、整形外科の先生、耳鼻科の先生が、非常勤の医師ということで勤務しておりますが、新しい病院につきましては、これから新しい病院での形態で、引き続いて来ていただけるかどうかということをお病院内で検討させていただいて、対応していきたいということになっております。

○一小路委員 ありがとうございます、もう一件。

○議長（佐藤会長） はい、どうぞ。

○一小路委員 よろしいですか。

そうしたら、眼科と小児科の常勤の先生は、とりあえず、市民病院にお出でになるということでもよろしいですか。

○議長（佐藤会長） はい、どうぞ。

○川西市民病院附属香川診療所事務局長 香川診療所です。

現在、小児科と眼科の常勤医師につきましては、病院内で異動ということなので、新しくできる仏生山の「みんなの病院」で、引き続いて診療科で勤務していただくということで考えております。

○一小路委員 ありがとうございます。

○議長（佐藤会長） はい、木田委員さん、どうぞ。

○木田委員 木田です。

仏生山の方で、「みんなの病院」がかなり見えてきまして、病院をつくるんだなあと思っておりますけれども、こちらの香川診療所の方では、これまでお話いただいた小児科、眼科、そして内科ということで診察を行っていますが、移行に関して少しお伺いしたいなあと思っております。今まで香川診療所に雇っていた方が、新病院ができた時に香川診療所がなくなるのと、どういう形で患者さんが、どう移行していくのか見えない部分がございます。例えば、初診料は必要なかどうか。診察券の発行はどうしていくのか。それらを含めてお聞かせ願いたいと思います。

○議長（佐藤会長） はい、どうぞ。

○松本新病院整備課長補佐 新病院整備課の松本でございます。よろしくお願いたします。

今、御質問のありました件につきましては、具体的に決まってないところが正直ございます。ただ、紹介状がない場合に関しましての初診料につきましては、現状と同じようにいただくというふうな方向で考えております。あと香川診療所で診察をしていただいている患者様につきましては、内容にもよりますが、できる限り再診という形での対応をさせていただこうと考えております。以上です。

○議長（佐藤会長） はい、木田委員さん。

○木田委員 高松市の病院で付属機関みたいなものでございますので、できるだけ初診料はないという形で御検討をいただきたいと思っております。これは、要望でございます。よろしく願いいたします。

○松本新病院整備課長補佐 はい、承りました。

○議長（佐藤会長） 他にございませんか、病院の関係で。

はい、特にないようでございますので、続きまして、項目番号5番の「香川地域保健活動センターの有効活用と幼児健診受診施設の整備について」、御質問等がございましたら、どなたからでも御発言をお願いいたします。

○議長（佐藤会長） はい、一小路委員さん。

○一小路委員 一小路です。よろしく願いいたします。

まず、第一が願望なのですが、ヘルスメイトとしての活躍の場所です。今、山田地区のヘルスメイトたちが集まって前の香川保健センターでいろいろと活躍しております。そのところをいろいろと配慮していただきたいと存じます。それから質問事項なのですが、昨年11月の第2回香川地区地域審議会臨時会でお伺いしたのですが、桜町の保健センターに集約したことで、牟礼地区の受診率がすごく上がっているとのお話がありましたが、香川地区の受診率は、桜町の保健センターに集約後、上がっているのでしょうか。

2点目、健診日当日の保健センター駐車場の混雑具合とか待ち時間などは、どのような状況でしょうか。

3点目、桜町の保健センターに集約するメリットとして、臨床心理・言語聴覚の専門相談が、健診日と同一日に相談できるため、早期発見・早期対応を可能とすることでしたが、その集約した効果はあったのでしょうか。以上3点お願いします。

○議長（佐藤会長） はい、どうぞ。

○久保健康福祉局次長 保健センターの久保です。

先ほどの質問3点について、まず、1点目について、香川の受診率のことにつきましてお答えいたします。昨年の同時期、1月から6月で本年と比較しました、1歳6か月児健診では2.2ポイント増の92.3%となっております。3歳児健診では0.6ポイント増の86.2%となっています。現在、未受診者に対しましては、それぞれ、1歳6か月児健診であれば2歳まで、3歳児健診であれば、4歳の誕生日の前日まで受診可能でありますので、今後とも受診勧奨に努めてまいります。

2点目よろしいですか。2点目の御質問ですが、駐車場の混雑状況につきましては、健診日に駐車場誘導者を1名増員いたしまして、3名で対応しております。安全で丁寧な誘導に心がけているところでございます。また、待ち時間につきましても子どもが退屈しないように、また、保護者には待ち時間を有効に過ごしていただけるように、保育士等による育児相談を始め、子育て情報の提供や安全確認や見守り、また、栄養士による食育の紙芝居とか絵本の読み聞かせ等を実施しているところでございます。

3点目の御質問ですが、専門相談の方につきましては、6月末までで約400人余りが利用されている状況です。必要に応じて、健診日当日に医療機関とか療育機関の紹介ができて、より早期に専門的な医療や相談を受けることが可能になっております。健診当日の結果に基づいて相談することができ、速やかな対応ができることで、保護者の不安の軽減等につながっていると思っております。

以上3点、御質問に対する回答でございます。

○議長（佐藤会長） はい、一小路委員さん。どうぞ。

○一小路委員 ありがとうございます。「すべてにおいて、よかった。」という結果なんですけど、ただ、遠いということがお母さん方保護者の負担になると思いますので、できるだけ速やかに、保健センターでやっていることが仏生山の総合センターでできるように、なるべく早くお願いいたします。

○久保健康福祉局次長 承りました。

○議長（佐藤会長） はい、他にございませんか。

特に（他に）ないようでございますので、続きまして、項目番号6番の「市道の整備」につきまして、御質問等がございましたら、どなた様からでも御発言をお願いします。

○議長（佐藤会長） はい、植松委員さん、どうぞ。

○植松委員 植松です。確認ということで質問させていただきます。

用地買収が完了したということで、それに伴って、工事にすぐに掛るなあと思っておったのですが、まだ、掛かっておられない現状だと思います。対応方針に書かれておりますように、「予算の確保をしながら、進めていく。」とうたっています。「できるだけ早期に完成したい。」とも書かれておりますが、今の現状として、29年度と言っているのですけれども、予算確保の見通しはどのようになっているのか、そこらをお聞きしたい。

○議長（佐藤会長） はい、どうぞ、増尾さん。

○増尾道路整備課長補佐 道路整備課増尾と申します。

先ほどのお話は、下川原北線のお話だと思います。用地買収につきましては、28年度中にすべて完了しておりまして、登記等も行いまして、いつでも工事にかかれる状況になっております。29年度の予算の方についても市内部の予算だけでなく、国の補助事業で行っておりまして、国の方へ補助の申請を行ったのですが、29年度の下川原北線については、補助認証を得られなくて、国の方から補助を得ることができなかったのです。それで、30年度に再び国の方に要求していく状況で、できる限り予算を確保して、来年度、道路の工事費だけでも1億円そこそこ掛りますので、それプラス橋の上の舗装であるとか、コーナーであるとか、そういった工事も含めて、できる限り予算を確保できるように、国の方に要望してまいりたいと思います。できれば30年度に予算がつき次第、早期の完成を目指していこうと思いますので、よろしく願いいたします。以上です。

○議長（佐藤会長） はい、植松委員さん。

○植松委員 はい、分かりました。国の方から下り次第、直ぐに掛っていただけるとお聞きしたのですが、それとともに、次の下川原北線と市道山下横岡線の関係なのですが、下川原北線が完成してから状況を見て、こっちの方に入ると前々から言われているのですが、この下川原北線が香南町に入ってから、今のところをすぐに左に曲がって、川沿いに城渡橋ですか、あそこに結ぶというのは聞いておったのですが、最近、ちょっとこういう噂話で申し訳ないのですが、「橋からまっすぐ西へ」の考えが、ちらほら聞こえているのですが、そこら市が入って話をしているのかどうか。市の方はしていないのか、ちょっとお聞きします。

○議長（佐藤会長） はい、どうぞ。

○増尾道路整備課長補佐 道路整備課増尾と申します。

下川原北線の西側にあたりましては、西側から香南町部分なのですが、今のところ市道路整備課といたしましては、それから南の県道三木綾川線に向かって、城渡吉光線という

道路があるのですが、堤防沿いを広げていく道路を計画しております。それについても、随時、国の補助を受けながら、本年度、用地買収・用地交渉を行い、来年度以降工事が行えるよう頑張っております。それから、植松委員のおっしゃった、そこから西に向かっての道路、三木綾川バイパスとしましては、元々香南町の方からの要望がございまして、道路の計画としましてはあるのですが、それについては、県道三木綾川バイパスルートということで、県の方に毎年、市としては施工していただくという要望をしているのですが、県の方から、今のところいつできるとか、そういった御回答をもらえていないので、今現在、特に動いているという状況ではないです。それについては、県の方に要望していきながら、せめて県道までできたらと思います。以上です。

○植松委員 すみません。

○議長（佐藤会長） はい、植松委員さん。

○植松委員 香東川の橋を渡ってから後は、県の方の事業として、市の方は考えておられるということでよろしいでしょうか。そのように聞こえたのですが。

○増尾道路整備課長補佐 議長。

○議長（佐藤会長） はい、どうぞ。

○増尾道路整備課長補佐 そのとおりでございます。県の方の三木綾川バイパスルートという事業で元々計画しておりまして、下川原の橋までについては市の方で行うということで、そこから先については県の方でやっていくということで、市と県で取り決めしていると聞いております。

○植松委員 はい、わかりました。ありがとうございました。

○議長（佐藤会長） はい、御厩委員さん。

○御厩委員 今、「香東川沿いの拡幅工事とかを国に申請してやりたい。」と、それを貰ったら将来的に、われわれ素人は、普通は絶対先に話ができれば、やっぱり先に西に延ばしてもらった方が良くと思うのですが、それはそれで、もし将来に地権者と話ができれば、二重には貰えないと思うんですけど、その辺はどうなんでしょうか。

○議長（佐藤会長） はい、どうぞ。

○増尾道路整備課長補佐 道路整備課増尾です。

今言われるのが、三木綾川バイパスルートを市ですとした場合に、一つの話として、国から、補助認証を得られるかどうかというお話だと思うんですが、今、市と県の中では、三木綾川バイパスルートについては県の方で行う事業なので、県が内部の予算とか、いろ

いろなもので協議して、最終的に補助がいけるのであれば、予算自身は県道としてやるので、付くかと思います。市は建設計画の中で、香南町と約束している城渡吉光線という南から下川原の橋にあたる路線の拡幅を、今現在、進めておりまして、前もお答えさせていただきましたが、まずは完成させることを目的とし、市として頑張っております。後もう一つ、橋を渡って南にすぐに曲がるのでは、確かに市としてあまりきれいではないので、県の方には強く要望しております。以上です。

○議長（佐藤会長） はい、どうぞ。

○御厩委員 やっぱり、香南町の人たちも、われわれ香川町の間人も、橋を渡って堤防行くのかという印象はあると思うので、少し時間はかかると思うのですが、粘り強く地権者の方や県と十分に折衝されて、やっぱり橋ができてよかったなあという道を造っていただきたいと思います。すぐには無理かもわかりませんが、よろしく努力をお願いします。

○議長（佐藤会長） はい、増尾さん。

○増尾道路整備課長補佐 県の方に強く要望していきながら、進めていけるよう頑張っ
て参りたいと思います。

○植松委員 すみません。

○議長（佐藤会長） はい、植松委員さん。

○植松委員 結局、橋を渡って真っ直ぐに行く場合と、直角に曲がって香東川沿いに南に上がる場合とでは、交通量が全然違って来ると思うのです。下川原北線ができてから、その利用状況や交通量の増加率とか検討した上で、山下横岡線の拡幅工事の方を検討するというふうになってくるのですが、それを検討する時期はいつ頃なのですか。橋が渡れるようになった時点から検討するのか、交通量等で道がどちらかに決まった時点なのか。検討する時期によって、山下横岡線の方が大分影響が違って来ると思いますが、そこらの考え方はどうなんですか。

○議長（佐藤会長） はい、増尾さん。

○増尾道路整備課長補佐 道路整備課増尾です。

山下横岡線の拡幅事業につきましては、先ほどもお話したとおり、下川原北線の完成を見て、交通量の確認をします。今、植松委員さんが言われますように、まず橋の完成、道路の完成それから南に向かっている城渡吉光線の完成、また最終的に三木綾川バイパスルートとしての完成、いろんな完成があると思いますが、やはりその状況々に応じて個別に考えて行くべきであると考えております。その状況の中で交通量が増加し、やはり今の現

状では履行が難しいといった段階で、考えていくような形になるのではないかとはおもっています。ただ、予算状況もありますので、すぐに掛れる、掛れないの話があるとは思いますが。以上です。

○議長（佐藤会長） はい、植松委員さん。

○植松委員 利用の状況というのは車のことだろうと思うのですが、前からずっとお願いしてあるのは、あそこは香川第一中学校の生徒が自転車通学をしています。通学路がずっと関係しているのですが、危険な状況を度々見るもので、できるだけ早期に改良してほしい要望を出しています。これから中学生が増えるとか、減るとかは別として、通学路ということで、できれば急いでお願いしたいと考えております。

そこらのところ、もう少し考えてよろしくお願ひします。以上です。

○議長（佐藤会長） はい、ありがとうございます。他にございませんか。

特にないようでございますので、項目番号6番の「市道の整備」につきましては、これで終わりたいと思います。

会議次第4 その他

○議長（佐藤会長） それでは、次に「その他」で何かございましたら、お願いします。

はい、能祖委員さん。どうぞ。

○能祖委員 能祖と申します。よろしくお願ひします。

昨年5月に提案された高松市公共施設再編整備計画の川東校区内の2件について要望があります。

香川町川東体育館・香川庭球場は、今から4年後に廃止されるとなっています。この体育館は、現在、築48年で耐震強度も不足しており、構造上災害時などには外壁が落下するなどの危険性があり、利用者からも不安の声が出ているようです。

今年5月に「高松市立地適正化計画」の説明が川東コミュニティセンターであり、私は出席できなかったので資料を見せてもらいました。その計画の中に、「一般都市機能誘導区域」というのがあり、香川南地区として香川総合センター周辺はその区域に入っています。この地区には住居や商店が多く住民も多数生活していますが、公園が無くお母さん方から、子どもが安全に遊べる公園が近くにあったら良いなあという声を聞いていました。遊び場が無いので、家でゲームをしたり、スーパーに行ったり、校区外の公園に行ったりしているそうです。

そこで、香川町川東体育館と香川庭球場の跡地に、是非とも公園を作っていただきたい。この要望を聞いていただけるかどうか分かりませんが、御相談に乗っていただけたら幸いです。高松市には、1小学校区に1公園を作るという基本的な方針があると聞いています。

この周辺には住宅等も多いので、災害時の避難場所としても有用だと思います。以上です。よろしくをお願いします。

○議長（佐藤会長） はい、どうぞ。

○河合公園緑地課長 公園緑地課の河合です。

「香川町川東体育館等跡地に公園ができないか。」との御要望でございますが、本市では、平成22年度に策定した「第2次高松市緑の基本計画」における「1小学校区1公園」の整備方針に基づき、26年度新たに「身近な公園整備事業」を創設し、これまでに「みたに三郎池公園」など3公園の整備が完了しております。今年度は、「(仮称)木太えびす公園」の整備を行うとともに、先ほど、御質問がございました「(仮称)大野公園」等の実施設計を行う予定としているところでございます。

現在、この「身近な公園整備事業」につきましては、公園のない小学校区や市有地を活用できる地区等を対象とし、30年度を目標年度として計画的に取り組んでおりまして、30年度以降につきましても、公園の少ない地域や市民からの要望もありますことから、それぞれの地域の公園の状況等を踏まえ、市民ニーズに即した「身近な公園整備事業」を進めていく予定でございます。

御要望の川東校区につきましても、高松市公共施設再編整備計画の進捗、用地の条件等、関係機関の調整を見ながら、この案件につきましても御相談させていただきたいと存じます。以上です。

○議長（佐藤会長） はい、よろしいですか。

○能祖委員 はい、分かりました。よろしくをお願いします。

○議長（佐藤会長） はい、他にございませんか。

○議長（佐藤会長） はい、御厩委員さん。

○御厩委員 前にも聞いたかも分かりませんが、香川町には、文化センターというものがたくさんあります。浅野だけでも1号・2号・4号と、ひょうげまつりの出発点となっています。浅野集落センターなどがあります。今まで香川町時代は、町にすべて維持管理を見ていただいていたのですが、特に思い出するのが、私の地元北部公民館というのがございまして、市がもう管理できないということで、「地元で管理するのであれば維持するけれど

も、できないのであれば市で処分する。」ということで、地元の人に相談して、幸いなことに3つの自治会さんが、「今度は、うちが維持管理業務を持ちましょう。」「これが無かったら困る。」ということで、北部公民館に関しては、名前を変えて、自治会の総会をするなり、お祭りの拠点にするなりして、よく利用しています。浅野も大野も川東も、そういう文化センターがたくさんあります。その話をすると香川町だけ贅沢ではないかという意見が、正直な気持ち皆さんあるのではないかと思うんですが、ただ、ダメだったら早く結論を、何年度までに出してくださいよ、ということをお早めに言わんと住民の方もおしりに火がつくと慌てる場合がありますので、何年の何月までに結論を出してくださいよ、と維持管理を地元で持ってくださいよとか、できないのであれば、残念ながら市が処分しますよとか、民間に貸しますよということになるかと思うんですが、香川町内の文化センターの扱いに関して、今のところの目安はどのようなのですか、あまり期待をしておいてはいけないのですが、香川町民の方も、4年後までとか3年後までとか言っていた方が、利用している皆さんの方がどうするか。「要らんわ。」と言うかもしれませんし、やっぱり「要るぞ。」と言うかもしれませんし、その辺り、年度の目安を決めていただいた方が、急に来年からかというのではいけないと思うので、その辺りどうなのか。もちろん置いていただくありがたいのですが、市長さんもコミュニティの再生ということをお口に言われてますし、昔は自宅でしたのが多いのですが、香川町時代の3つ前の町長さんの考えで、こういう場所が要るだろうという考えで、大分前になります、各地区に文化センターを造った経緯があります。

○議長（佐藤会長） はい、どうぞ。

○森田ファシリティマネジメント推進室長 財産経営課ファシリティマネジメント推進室の森田でございます。

私の方から現状だけを御報告させていただこうと思います。今お話しいただいたのは、高松市公共施設再編整備計画（案）の2次に関わる内容でございます。この中で、特に地域の集会施設におきましては、基本的には、すべて継続使用とさせていただいておりますが、その中で、10年継続のものと15年継続のものに分けさせていただいております。10年継続のものというのは、主に地域の地元の自治会さん等が使用されている集会所を10年とさせていただいております。その説明書きのところに、「今後、地元譲渡等の対応を検討したい。」というような注意書きを書かせていただいております。この件につきましては、今現在パブリックコメントを募集中でございます。計画自体も、まだ案の

状況でございます。今後、また機会を設けまして、各地域の御意向等を御確認させていただいたうえで、今年度中を目途に、全庁的な地元譲渡にあたっての対応の基本的な考え方を取りまとめたうえで、更に協議の方を進めていただこうというふうに考えております。ですから、一応何年というのは、現状では、まだ目途がつかない状況ではございますけれども、今後、そういった御意見を聞く機会を設けさせていただきたいと思っておりますので、その時に、御要望には全部添えないかもしれませんが、様々な御要望を伺ってまいりたいと存じてますので、何卒よろしく願いいたします。

○議長（佐藤会長） はい、御厩委員さん。

○御厩委員 先行き暗い話になろうかと思っておりますけれども、やっぱり地元住民の方は、当たり前のように、香川町時代に使っていたんです。それが自主管理とか廃止になりますと、とまどう面がありますので、十分丁寧な地元説明会を行ってもらいたいと思っております。よろしく願います。

○議長（佐藤会長） はい、森田さん。

○森田ファシリティマネジメント推進室長 おっしゃるとおりだと思います。先日も香川地区の方で、出前トークに呼んでいただきまして、ファシリティマネジメントの取組み等を30分ほど御説明させていただきました。また、集会所に関しては、所管の総合センターと連携して、説明の場を設けたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

○議長（佐藤会長） はい、よろしいですか。他に何かございませんか。

○生嶋委員 はい。

○議長（佐藤会長） はい、生嶋委員さんどうぞ。

○生嶋委員 生嶋です。

大野小学校を避難所として使う場合の設備の充実化について、御質問させていただきたいと思っております。要望が中心になると思っておりますが、大野校区には避難所として使える施設として、大野コミュニティセンターと大野小学校の体育館がございます。今の体育館の使用については2階が避難所になっておりまして、居住環境として2階にトイレがないとか、あるいは足腰の弱っている人の昇降が負担になるとか、そういう大きな欠点がございます。今年度文科省の方針として、「学校が避難所として使われる場合の避難所運営のマニュアルを作りなさい。」という方針が出されていることを防災士会を通じて聞いております。という観点から大野校区としても、ソフト的なところは、地域継続計画の中で、校区内の災害時に、例えばボランティア介護を立ち上げたりしていますし、あるいは、避難所運営の訓

練も今年初めて実施しました。一番大きなネックとなっているのが、小学校の体育館を避難所として使う場合のことでありまして、まずは2階への上り下りが容易にできるような昇降装置をぜひ設置していただきたい。費用的にはそんなに掛らないと思うのですが、私も今年、小豆島池田の小豆島農村環境改善センター（イマージュセンター）に行き、数年前から既に昇降装置がついていて、2階を避難所として使われている非常に重宝されている現地を見てきましたので、まずは、トイレの改修とかいろいろあるのですが、昇降装置だけでも早めにつけていただけないかと思います。どうしても校区内の大きな行事をする場合、例えば文化祭の展示とか、これから時期を迎えます敬老会等につきましても、この体育館を利用させていただいておりますので、付けていただいたら避難所運営に限らず、校区内の大きな事業にも有効利用できると思いますので、御検討をよろしく願いしたらと思います。

○石原教育局次長 議長。

○議長（佐藤会長） はい、どうぞ。

○石原教育局次長 教育委員会です。

大野小学校の体育館の昇降機の件でございます。私も体育館を見さしてもらったのですが、非常に立派な体育館です。1階部分が駐車場になっているんですね。昇降機なのですが、基本的に避難所という観点からいけば、今は体育館になっていますが、本当に避難する時は校舎を利用される可能性もあると思いますので、基本的には、高齢者の方については、校舎の1階で冷暖房も入っていますので、そういった避難になるのかなあと考えております。体育館が構造的にも非常に立派なので、構造上に若干の制約があるにしても、やはりコスト面ですね。金額的に大体4～5百万円掛るのかなあと考えております。こちらが考えているのが、学校施設のトイレは、避難所として考えなければならないこともありますので、今後、計画的に実施しようと思っておりますので、2階は構造的に非常に厳しいのですが、既存のトイレにつきましては、そういうふうを考えております。いつというわけではないのですが、計画的にやっつけようと思っておりますのでよろしくお願いします。昇降機につきましては、現時点で申し訳ないのですが、避難所という形では考えておりませんのでよろしくお願いします。

○議長（佐藤会長） はい、生嶋委員さん。

○生嶋委員 すみません。昇降機についてですが、何がネックなのですか。

○石原教育局次長 今言った金額もあるのですが、そこを付けると他も全部付けなくては
いけなくなるのと、本当に災害に遭った時に、その昇降機が使えるかという、たぶん使
えないのではないかと考えるところもあって、それであれば、なるべく今現在の既存施設
を利用していただくのが良いのかなあと思っているところでございます。

○議長（佐藤会長） はい、生嶋委員さん。

○生嶋委員 すみません。先ほど、4～5百万円とおっしゃられた金額ですが、それは、
トイレと昇降機合わせた金額なのですか。

○石原教育局次長 昇降機だけです。

○生嶋委員 その金額は。

○石原教育局次長 大体、業者にちらっと聞いただけで、正確な金額ではないです。

○生嶋委員 金額のハードルが取れば、設置はできるという考えでよろしいですか。

○石原教育局次長 申し訳ございませんが、学校施設につきましては、大野小学校だけで
はないのです。学校全部で70なんぼありますので、全体的の中で、まずは私どもとして、
階段昇降機というよりもトイレという要望もありますので、そちらの方からして行こうと
思っておりますのでよろしくお願いします。

○議長（佐藤会長） はい、よろしいですか。

○生嶋委員 また、別途御相談させていただきます。

○議長（佐藤会長） ありがとうございます。

○池田委員 すみません。

○議長（佐藤会長） はい、池田委員さん。

○池田委員 池田です。

先ほど、御解答いただいた内容なのですが、大野校区では、高齢者が集う場所、集まる
場所が全部2階なのです。本当に足の悪い方、体の不自由な方は参加できない状態なので
す。大野コミュニティセンターも2階ですし、敬老会をする大野小学校体育館も2階で
ございます。それで、本当に不自由な方、足が悪くても来たい、みんなと一緒に顔を見たい
という方は、どうすれば解決するのでしょうか。どのように返事をしたらよいか、お聞か
せください。

○植田地域振興課長 議長。

○議長（佐藤会長） はい、どうぞ。

○植田地域振興課長 高齢化が進んでおりまして、コミュニティセンターにつきましては、地域の交流拠点とか防災拠点、避難所となっております。そういったところで、コミセン整備につきましては整備計画に基づきまして、これまでは耐震化をできていない施設を中心に改修、改築をしております。旧公民館は古い設計でできていますので、コミュニティセンターとしては、使い勝手の悪い点も多くございまして、特にバリアフリーとか、そういった対応ができていないとか、2階建にエレベーターがないとか、そういった問題がございます。耐震化対応が終わりますと、老朽化・劣化に応じて、順番に古い施設から改修・改築を検討し、建て替える場合に、2階建となった場合には、エレベーターを設置する方向性で計画をするようにしています。以上です。

○議長（佐藤会長） はい、ありがとうございました。

○議長（佐藤会長） はい、池田委員さん。

○池田委員 ではこの建て替えは、古くなった時の対応であって、今、たちまちどうこういう対応は考えてないと判断してよろしいですか。

○植田地域振興課長 次のコミュニティセンターの改築につきましては、今、新たな計画を策定中ございまして、順番がくれば、機能的なものになってくるとは思います。今すぐに、エレベーターを設置するのは非常に困難かと存じます。

○議長（佐藤会長） はい、木田委員さん。

○木田委員 木田でございます。

昨年、障害者差別解消法ができておりまして、その関連からいきますと障害のある方も公的施設につきましては、参加する機会を与えるという方向性で、まあ考えていただくということになるかと思うんですけれども、ただ、こういう施設につきましては、多額の費用が要りますので、「即、全部早くしろ。」ということにならないということも理解しております。ただ、先ほど来から申しあげておりますように、市の方からコミュニティに「そういう行事をやってくださいよ。」と言われても、私どものコミュニティが、「それじゃあ、あなた方は、参加できませんよ。」というのが、大変言いづらいのが根っこにあるのですよということを理解していただきたいと思っております。以上です。

○議長（佐藤会長） 要望でよろしいですか。

○木田委員 はい。

○議長（佐藤会長） よろしいですね。生嶋さんも、それで結構ですか。

○生嶋委員 結構です。

○議長（佐藤会長） それでは、他にないようでございますので、私の方から1点、「連携のまちづくり」の南地区適応指導教室の件ですが、今年の5月に配布いただきました、「建設計画に係る事業の平成29年度予算化状況」のうち、「連携のまちづくり」の南地区適応指導教室の運営に関する平成29年度の当初予算額についてお伺いしたいと思います。この事業に対する予算額は、例年600万円ほどですが、今年については約4.8倍の28,919千円が予算化されています。この理由について、御説明をいただけたらと思いますのでよろしくお願いします。

○議長（佐藤会長） はい、どうぞ。

○篠原総合教育センター長 総合教育センターの篠原と申します。よろしくお願いいたします。

今、お話にありました香川町川東に設置しております適応指導教室「香川町 みなみ」でございますが、不登校児童生徒の心の安定や個別の支援を行う施設として、10名を定員として運営しておりましたが、ここ数年、定員を超える通室希望がございまして、全員を受け入れることができない状況がございました。そこで、本市といたしましては、今後不登校児童生徒の増加が見込まれますことから、より多くの児童生徒を受け入れるために、元南消防署仏生山出張所跡地へ移転し、より充実した支援ができるように計画を立てております。御指摘の計上額は、今、申しました、元南消防署仏生山出張所の解体に係る費用を含めた額でありまして、現在の予定では、今年12月から解体工事に入り、その後建築工事を行い、予定では平成31年4月に仏生山の方で開室予定でございます。移転後も、引き続き香川町をはじめ、塩江町、香南町を含む本市南部地域の不登校児童生徒を中心に受け入れてまいりますので、御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。以上です。

○議長（佐藤会長） はい、どうもありがとうございました。よくわかりました。

○木田委員 はい

○議長（佐藤会長） はい、木田委員さん。

○木田委員 木田です。

今の「みなみ」を拡大してということで、どのくらいの定員まで、受け入れる予定にしておりますでしょうか。

○議長（佐藤会長） はい、どうぞ。

○篠原総合教育センター長 はい。大体20～30名の子どもたちを受け入れる施設にしたいと思っております。

○議長（佐藤会長） はい。

高松市内全域では何か所あるのでしょうか。

○篠原総合教育センター長 はい。

○議長（佐藤会長） はい、どうぞ。

○篠原総合教育センター長 はい。「みなみ」を含めまして、2箇所です。もう1箇所が、私ども総合教育センター内に適応指導教室「虹の部屋」というのを設けておりまして、こちらの方が、私どもの施設の中にありますので、50名程度が定員ということで受け入れております。それと「みなみ」があったのですが、今の時代は増えてきているというところで、御理解をいただきたいと思います。

○議長（佐藤会長） はい、どうもありがとうございました。

他に何か「その他」で、御質問が委員さんの方であればお受けいたしますけれども。

はい、他にないようでございますので、熱心な質疑応答をありがとうございました。

以上で、本日の会議日程はすべて終了いたしました。皆様方には長時間に亘り御協議を賜り、また円滑な進行に御協力をいただき誠にありがとうございました。

これをもちまして、「平成29年度 第1回高松市香川地区地域審議会」を閉会させていただきます。

本日は、ありがとうございました。

午後3時31分 閉会

会議録署名委員

委員 中澤悦子

委員 西川靖子